

農空間

第65号

発行所
福島県農林水産部
農村振興課

【特集】 福島復興を加速化する 「福島再生加速化交付金」とは

1 はじめに

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う避難指示等により住民が避難し、復興・再生に遅れが生じている地域に対して、避難住民の早期帰還を促進し、地域の再生を加速化させることを目的として、平成27年度まで(一部事業は平成27年度まで)を終期として創設された、福島再生加速化交付金の実施状況を紹介します。

2 福島再生加速化交付金とは

本交付金は、主に地域の再生に支障が生じている12市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)を対象としていますが、農業水利施設等の放

射性物質対策事業については中・浜通り全域が対象となります。本交付金のメニューは、通常の補助事業と同様のものが多いですが、申請における事務手続きが異なります。通常事業では11月頃採択申請をし、翌年4月に採択を受ける流れですが、本交付金は、3ヶ月に1回程度募集があり、その都度申請・採択・交付決定を受けることができるため、その期間は約3ヶ月とスピード感のある事業です。また、平成27年度より内容が拡充され、複数年にわたり事業を実施する地区については基金化が可能となりました。

3 これまで

農業農村整備事業分野の県営事業に関しては、平成26年度ま



H27ほ場整備事業着工予定地区：馬場西地区



H27ほ場整備事業計画地区：西真野地区

ではほ場整備事業3地区、かんがい排水事業1地区、基盤整備促進事業1地区、営農再開支援事業1地区、調査計画事業6地区の合計12地区が採択を受け、現在復興に向けて鋭意進捗中です。また、今年度は、7月7日現在で15地区(既採択で年度予算要求のみの地区も含む)が事業採択を受けています。

4 これから

福島県の復興・再生は、まだまだこれからですが一歩ずつ着実に前進しており、福島再生加速化交付金はその推進を担うものとして復興・再生に遅れが生じて

いる地域の帰還環境の整備を行い、福島復興を加速化させます。本交付金を有効活用できるよう、事業終期を見据えて推進されますようにお願いします。なお、詳細な事業内容については当該課または、各農林事務所農村整備部までお問い合わせ下さい。

《農村計画課》

福耕支援隊情報

相双管内(南相馬市原町区以北)の津波被災農地では、災害復旧と合わせたほ場整備7地区(受益面積1181ha)を実施しています。担当している農村整備第二課では、今年度は9名の復興支援隊の応援を得て、現場、地元、関連復興事業と日夜格闘しながら、一日も早い完了に向けて取り組んでいるところです。

その強力な助っ人9名からメッセージをいただきましたので紹介します。

北海道 佐藤慎吾さん

(担当：八沢地区)
震災後より福島県における安全・安心な農産物供給の取り組みに驚き、感心しました。一例としては、福島県内全域の全ての米袋(毎年、約1,100万点)を放射線量検査しているとの事でした。

地元の方も農産物の安全性に自信を持っているので、早く米作り等を再開したいと希望されるので、一所懸命、ほ場整備を進めたいと思っています。

青森県 阿保幸生さん

(担当：原町東地区)
平成24年に2ヶ月、今回の6ヶ月と相双農林事務所二回目の災害派遣となります。

前回の排水機関係から、今回ほ場整備へと業務内容はガラリと変わりますが、福耕支援隊として加わることができ、早い

復旧・復興のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

また、福島県の美味しい「食」についても堪能したいと思っています。

秋田県 伊藤嘉史さん

(担当：作田前地区)
4月から福島県で勤務を始め、早いものでもう5か月が過ぎました。まだまだ未熟で思うように仕事を進められませんが、復興のために全力で頑張っています。

仕事以外でも福島の人々の魅力を体験し、秋田に帰ってもその魅力を発信していきたいです。



新潟県 富田悠生さん

(担当：押釜地区)
平成25年4月～5月の派遣に続き、8月から2回目の派遣となりました。当時からいらいっしやるプロパー職員の方が多数いらして心強く、また皆様から温かく迎えていただきとても助かっています。

2か月という短い期間ではありますが、大好きな福島県のために微力ながら尽力させていただきますので、よろしくお願ひします。

新潟県 八木正樹さん

(担当：八沢地区)
8月に新潟県から参りました。

新潟県も地震や水害で多くの方からご支援をいただいております。少しでも恩返しできればと思っています。2ヶ月間という非常に短い派遣期間ですが、復旧・復興に微力ながらも貢献できるよう努力してまいります。

また、災害派遣は初めてで不安もありましたが、皆さまには公私を問わず濃いお付き合いをしていただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

新潟県 遠山和成さん

(担当：金沢・北泉地区)
8月から2ヶ月間の派遣でありました。災害復興もほ場整備も初の経験となるため不安もありましたが、温かく迎え入れてもらっています。限られた期間であり、自分自身も経験も浅いため出来ることは限られますが、少しでも復興の手伝いが出来るように他の派遣者と一緒に頑張りたいと思っています。

滋賀県 東郷伸幸さん

(担当：金沢・北泉地区)
職場のすばらしい上司や仲間と共に、福島復興のため仕事が出来ることが感謝しています。一年間ですが、福島県を満喫し魅力を発信していきたいと思っています。

大分県 横田政孝さん

(担当：和田地区)
復旧・復興に少しでも貢献できるようなプロパー職員のご指導のもと、微力ながら私に出来る限り頑張りたいと思っています。

大分県 黒岩 聡さん

(担当：原町東地区)
4月より大分県から参りました。初めての東北・福島での仕事となりましたが、福島県の皆様に温かく支えていただき、大変感謝しております。支援隊の皆さんもエネルギーの溢れる方が多いです。私もその一員として、微力ではありますが福島復興に貢献できるよう努力してまいります。

